

免疫抑制・化学療法をうける方は B型肝炎検査が必要です

監修//京都府立医科大学附属病院 消化器内科
南 祐仁 先生

“B型肝炎”がリウマチ治療等で発症(再発)する可能性があるということが最近の研究でわかりました。
日本人50歳代以上の2~3割はHBVの既感染者といわれています。

既感染でのHBV再活性化率は関節リウマチで7~8%、固形ガン関連でも約1%ともいわれています。

HBV既感染者に、免疫抑制・化学療法を実施した際にB型肝炎が発症(再発)する可能性がありますのでHBV-DNAの定期的な検査が必要です(南先生談)

治療前(中)にB型肝炎検査*1)

*1) ご注意!! HBs抗原が陰性(ー)でもHBe抗体、HBs抗体検査は必要です。HBe抗体、HBs抗体のどちらかが陽性(+)または、どちらも陽性(+)ならHBV-DNA検査が必要です

実施しないと
不安な生活



休眠状態
のHBV

実施したら
安心*2)の生活



*2) HBV既感染の場合、定期的なHBV-DNA検査が必要です。

検査内容については肝臓学会:「免疫抑制・化学療法により発症する
B型肝炎対策ガイドライン」を参照ください

http://www.jsh.or.jp/medical/guidelines/jsh_guidelines/hepatitis_b

Q1

HBs抗原陰性でもHBV-DNA検査は必要ですか？

A1

はい、必要です

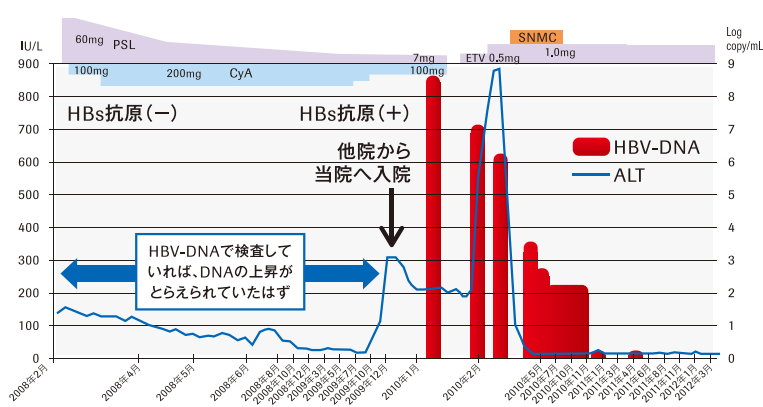


図 皮膚筋炎患者においてHBs抗原が陰性であったにもかかわらずステロイドとシクロスポリンによる治療中にHBVの再活性をおこしたが、一命をとりとめた例 南 祐仁 先生データより

B型肝炎ウイルスは、HBs抗原が検出されなくても持続感染している場合があります。B型肝炎の再発を防止するためにHBc抗体、HBs抗体やHBV-DNAを組み合わせた総合的な判断が重要となります。

HBV-DNAをモニタリングしていればより安全に肝炎の治療をすることが出来たことでしょう。

Q2

免疫抑制作用を有する医薬品で(免疫抑制剤・抗悪性腫瘍剤・抗リウマチ剤等)B型肝炎が重症・劇症化することがあるのですか？

A2

はい、あります

症例

50歳代、男性、関節リウマチ。

HBs抗原(+)、HBe抗原(-)、HBe抗体(+)、HBV-DNA量は3.1Log copy/mlであった。アダリムマブ投与前にエタネルセプト、トシリズマブ投与経験あり。アダリムマブ投与開始時、プレドニゾロン、サラゾスルファピリジン併用あり。アダリムマブ投与開始167日後よりタクロリムス及びメトトレキサートを併用し、279日後に全ての抗リウマチ薬投与終了。投与終了8日後より食欲不振、上腹部痛、発熱が発現し、13日後より劇症肝炎が発現(AST:1257 IU/L、ALT:2594 IU/L)。16日後の検査ではHBe抗原(s/co値):0.5未満、HBe抗体:99%、HBc抗体(s/co値):7.55、黄疸、PT延長のため入院し持続的血液濾過透析、血漿交換、ステロイドパルス療法、エンテカビルを投与したが肝機能は回復せず、抗リウマチ薬投与終了33日後に死亡。

【参考資料】 医薬品医療機総合機構 PMDAからの医薬品適正使用のお願いNo.3 2011年10月 <http://www.info.pmda.go.jp>

肝機能検査値や肝炎ウイルスマーカーのモニタリングを行うなど
B型肝炎ウイルス増殖の徴候や症状の発現に注意しましょう

検査要項

検査コード	検査項目	材料	検体量	容器	保存条件	所要日数	検査方法	基準値	診療報酬区分番号	保険点数	保険収載名称
9494	デノボHBs抗原 精密測定	血清	0.5mL	A1→A2	冷蔵	1~3	CLIA法	0.05未満 IU/mL 陰性	D013-03	88	HBs抗原
9496	デノボHBs抗体 精密測定	血清	0.5mL	A1→A2	冷蔵	1~3	CLIA法	10.00未満 mIU/mL 陰性	D013-03	88	HBs抗体
9498	デノボHBe抗体 CLIA法	血清	0.5mL	A1→A2	冷蔵	1~3	CLIA法	S/CO 1.0未満 陰性	D013-06	146*1	HBe抗体半定量・定量
0912	HBe抗原	血清	0.5mL	A1→A2	冷蔵	1~2	CLIA法	S/CO 1.0未満 陰性	D013-04	107	HBe抗原
0914	HBe抗体	血清	0.5mL	A1→A2	冷蔵	1~2	CLIA法	インヒビション50.0未満% 陰性	D013-04	107	HBe抗体
7029	HBV-DNA定量 TaqManPCR	血清	2.1mL	Y	凍結	2~5	PCR法 (リアルタイムPCR法)	検出せず Logコピー/mL(注)	D023-03	287*2	HBV核酸定量

印:肝炎ウイルス関連検査において患者から1回に採取した血液を用いて3項目以上を行った場合は、所定点数にかかわらず、検査の項目数に応じて次に掲げる点数により算定する。

イ 3項目 (290点) ロ 4項目 (360点) ハ 5項目以上 (469点)

*1 HBe抗体半定量・定量とHBe-IgM抗体を同時に測定した場合は、一方の所定点数を算定する。

*2 HBVコア関連抗原(HBcrAg)をHBV核酸定量と同時に測定した場合は、主たるもののみ算定する。

(注) 定量報告下限値未満となった場合の報告

HBVに対して特異的な増幅反応シグナルを検出した場合:2.1Logコピー/mL未満(定量下限未満のHBVを検出した)

HBVに対して特異的な増幅反応シグナルを検出なかった場合:検出せず

※HBe抗原(コード:0912)、HBe抗体(コード:0914)について、東京、東海、九州、沖縄地区の所要日数は2~3日です。

※HBV-DNA定量(コード:7029)について、九州、沖縄地区の所要日数は3~6日です。